

会 議 録

会 議 名	令和 4 年度第 2 回野田市国民健康保険運営協議会
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	1 野田市国民健康保険保健事業について（公開） 2 令和 5 年度野田市国民健康保険料等について（公開） 3 令和 4 年度野田市国民健康保険特別会計補正予算について（公開）
日 時	令和 4 年 1 2 月 2 6 日（月） （書面による審議を行った日）
書面による審議を 行った委員の氏名	会 長 小林 幸男 会長職務代行者 松本 純子 委 員 田中 保夫 委 員 前田 憲二 委 員 田中 輝男 委 員 木村 安雄 委 員 谷口 勲 委 員 児玉 雅仁 委 員 山本 園子 委 員 稲富 佐斗子 委 員 牧 万博
議 事	第 2 回野田市国民健康保険運営協議会の開催は、新型コロナウイルス感染症対策のため、書面による審議としました。 1 発 送 日 令和 4 年 1 2 月 1 5 日（木） 2 回答締切日 令和 4 年 1 2 月 2 6 日（月） 3 提 出 数 委員 1 3 名中 1 1 名提出 4 審議内容等 議案第 1 号 野田市国民健康保険保健事業について 報告を受ける。 【委員からの意見】 （質疑） 財政が厳しい中でも、病気を早期発見、早期治療を行うために、保健

	事業に注力することは理解できる。５０歳以上の人間ドック助成や４０歳以上の乳がん検診の助成などは、大いに注力すべきと考えているが、はり、きゅう、あん摩助成は、全く理解ができない。世間では水増し請求や、間違った保険利用が問題視されている。なぜ助成が必要なのか。野田市民に対して助成を行う必要があるのであれば国民健康保険加入者だけではなく、全市民を対象に市政として行うべきと考える。 (回答) はり、きゅう、あん摩等施設利用助成は、国民健康保険加入者の健康の保持、増進を目的として平成３年度より実施しています。現在、野田市では４５歳以上の国民健康保険加入者のほか、７５歳以上の後期高齢者医療保険加入者に対しても助成を行っており、また、対象範囲や助成金額等は異なりますが、近隣市においても幅広く実施されている事業になります。 全市民に対象範囲を拡大することについては、市全体の財政状況を勘案しながら決定する必要があるため、ご意見として今後の参考とさせていただきます。 議案第２号 令和５年度野田市国民健康保険料等について 報告を受ける。 【委員からの意見】 (質疑) 令和５年度、現行保険料率を維持するために繰入れをする一般会計とは、国民健康保険加入者だけではなく健康保険組合の被保険者等からも徴収した市民税を財源としたものか。 (回答) 国民健康保険には中高齢者が多く加入しておおり、医療費が増加する一方、被保険者の所得水準が低い傾向にある構造的な問題を抱えているため、市では厳しい財政運営を強いられています。
--	---

	一般会計からの法定外繰入は、国民健康保険の被保険者以外の税も充当することになりますが、令和５年度の国民健康保険料については、近隣市の状況等も参考にしつつ、新型コロナウイルス感染症の拡大、エネルギー価格や物価の高騰等により、国民健康保険被保険者にこれ以上の負担を求めることは困難であると判断し、財政調整基金の活用に加えて実施しようとするものです。 議案第３号 令和４年度野田市国民健康保険特別会計補正予算について報告を受ける。 【委員からの意見】 特になし。 ５ 審 議 結 果 全ての議題について、承認多数により承認を得ました。
--	--